

たいよう

発行所
太平洋基礎工業株式会社
たいよう新聞委員会

最前線レポート

工事名

てだこ浦西駅周辺地区
整備工事(H31-10)

目的

イオンショッピングモール
土地区画整理の法面保護

発注者

浦添市てだこ浦西駅周辺
土地区画整理組合

元請業者

株式会社大城組

工事場所

沖縄県浦添市前田地内

工期

令和二年六月一日
〜令和二年二月三十一日

工事内容

RBPウォール工
鉄筋挿入工Ⅱ三二九本

七月の夏真っ盛り、今回の現場である沖繩に乗り込みました。当現場のある浦添市にきたのは初めてです。新型コロナウイルスの恐怖はありましたが真つ青な海と灼熱の太陽が私たちに熱く迎えてくれました。

工事着手にあたり、早速、沖繩特有の二つの問題にぶつかりました。一つ目が沖繩の地質です。クチャ層とよって中国大陸東海岸沖の海底に堆積した砂や泥が隆起によって地上に現れた地層です。島尻層群泥岩、または島尻泥岩と呼ばれています。均一な地層としては高い強度を持ちますが、断層に沿ってすべ

声援

全国の支店、営業所、出張所の職員、協力会社の皆様、毎日の業務履行お疲れ様です。寒さが増し、空気が乾燥した冬季になり、新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。十二月に入り感染者は全国で二〇〇〇人/日を超える日が多く、重症者は十二月十四日時点で五八八人となり、感染者数、重症者共に増加傾向を続けています。医療関係者の御尽力と御苦労には頭が下がる次第です。

私が所属する調査部の状況と、ここ数年の社会的な課題である「事業継続計画(BCP)及び、「持続可能な開発目標」(SDGs)について、弊社での取り組み状況を示します。

まず、名古屋支店調査部では、戸建て住宅の基礎地盤調査や、建設工事に先立つた地盤状況の把握を目的とした地質調査を主

削して、毎回経層探査(金属探知)を行い安全を確認しないと次の工程に進めません。各業者との打ち合わせを毎日、時間をかけて徹底することに努めました。

その他の問題として、当現場はコンクリートパネルの曲がりが高かったのですが、この工法に精通した上司から、丁張りのかけ方や順調に施工を進める方法RBPウォール工に活用する測量など適切なアドバイスを受けながら工事を進めました。おかげ様で当初の工程内で大きなトラブルもなく順調に進み、十二月に完工する予定です。私自身この経験を糧として、また次の現場に活かしていきたいと思っています。

最後にこの紙面をお借りして、大城組様を始め難しい工事を最

体に、ボーリング調査やスウェーデン式サウンディング調査を年間一六〇〇〜一七〇〇件実施しています。この地質調査業務を職員四名と、協力会社六〜八班で、計画・現場作業・作図や考察を含む報告書作成・成果品の提出を行っています。

今期は、一二月に入ってからコロナ禍の影響で、民間住宅や設備投資の中止や延期及び、公共事業の発注業務の停滞によって業務件数が低迷し、大きなムラが発生しています。年間売上高の目標達成には更なる受注増が必要です。皆様の御協力をお願いいたします。

その中で、幸いにも名古屋市環境局発注の調査業務が受注できました。第三者機関のコーリンズ・テクリスに実績登録ができて、調査部の年間営業目標の一つが達成できることになりました。

次に、事業継続計画(BCP)は、二〇一一年三月に発生した東日本・太平洋沖地震による津波被害や、二〇一六年四月、日本の内陸で最大のマグニチュード七・三を記録した熊本地震による道路や鉄道、ライフラインの損壊被害によって企業活動が数箇月にわたり停滞し、廃業を余儀なくされた会社もありました。

本社や名古屋支店、神守研究開発センターのある愛知県低地部は、襲来の予想される南海トラフ巨大地震の被災地域にあり、液状化や津波被害が予想されています。また、建設業は災害復興の大きな担い手で、弊社には大きな社会的責務があると考えています。BCPは、発災前に予め対策を講じて置き、被災をできるだけ少なくし、早期の事業活動の再開を可能にする方策を検討しておくことです。

具体的には、発災時の安否確認や、ライフライン寸断時の対応策、事業拠点の分散、事業拠点の耐震化や免震化、地震対策及び、避難方法や復旧方法など多岐にわたります。

弊社では災害備蓄品の準備保管や、千葉県の成田市近郊での資材置場用地の確保及び、携帯端末を利用した安否確認システム運用準備が進められてきています。今後は事業拠点の地震対策や、避難方法、被災時の対応策、復旧方法について段階的にも、早急に検討していく必要があると考えています。

持続可能な開発目標(SDGs)は、二〇一五年九月に国連サミットで採択された二〇三〇年までに達成するために掲げた目標です。一七の大きな目標があるうち、弊社に関係のある項目や、加藤社長が提唱している目標について具体的に示します。

⑧働きがいも経済成長も：すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある

人間らしい仕事)を推進する。⑨産業と技術革新の基盤をつくろう：強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る。

⑩住み続けられるまちづくりを：都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする。

⑪気候変動に具体的な対策を：気象変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る。

弊社の建設工事によるインフラ整備やまちづくり、自動車のエゴ運転での環境負荷の低減によって、みんなが雇用と働きがいを持てるようにSDGsの達成に繋がります。

二月三日(水)の午後四時より、「火山灰と有機質土」についての特別研修会をZOOM配信します。火山灰層は、薬液注入工事で注入不足が発生しやすい地層です。また、腐植土や黒ボク(黒色土壌)を含む有機質土は、改良工事において固不良になり易い特殊土です。現場の地盤構成に応じた工法・手法に変更する必要があります。それらの原理と土の見分け方を解説します。SDGsの一環と考えています。是非ご聴講ください。

長文となりましたが、今年度の年末年始は、新型コロナウイルスの感染拡大に配慮した異例の休暇となります。皆様の健康と家族のご健勝及び、新型コロナウイルスの早期の終息を願います。

名古屋支店 調査部
部長 小嶋 広幸

最後にこの紙面をお借りして、大城組様を始め難しい工事を最

コロナコロナで先行き不透明感の中、あつという間に一年を締めようとしています。真にコロナで始まりコロナで終わる、そんな一年でした。

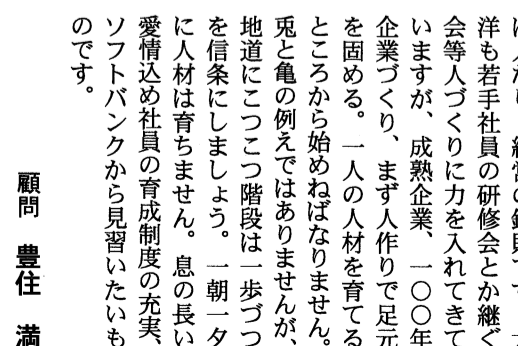
私としては、自粛自粛の世間に逆らうかの様にアウトドアやイベント等経済活動もコミュニケーションも大切と不安を抱えながら進めてきました。幸い感染者も出ずに神仏の思し召しがあった一年かと思ったりもしています。

年が変わってもしばらくはこの状態が続く我慢の年になるのではと見通しています。政府もコロナ対策とGOTOトラベル、GOTOイート、地域振興券等の経済対策に苦慮していますが、二兎を追うものは一兎も得ずとも申しますが、賢く恐れ賢く対応する。健康も大切、経済も大切とどちらも大切と二兎を追う以外にないのではないのでしょうか。

一月二五日(水)プロ野球日本シリーズ、巨人×ソフトバンク戦、決着がつかずました。中日ファンの私としては、セリーグに勝ってほしいと思いつつアンチ巨人という思いもあつたのテレビ観戦。圧倒的力の差を見せつけた四戦全勝のソフトバンク、勝因は先を見越した育成選手への手厚い取組にあつたと評する記事もありました。企業は人なり、経営の鉄則です。太平洋も若手社員の研修会とか継ぐ会等人づくりに力を入れてきていますが、成熟企業、一〇〇年企業づくり、まず人作りで足元を固める。一人の人材を育てるところから始めねばなりません。兎と亀の例えではありませんが、地道にこつこつ階段は一つづつを信条にしましょう。一朝一夕に人材は育ちません。息の長い愛情込め社員の育成制度の充実、ソフトバンクから見習いたいものです。

顧問 豊住 満

九州支店 工務部
溝口 建



顧問 豊住 満

事業所だより

令和二年もあと少しで終わりを迎えます。全国で活躍されております太平洋基礎工業㈱の関係者の皆様、今年はどうな年だったでしょうか？全世界を震撼させている新型コロナウイルスへの感染予防・防護対策は大丈夫でしょうか？九州支店の鹿児島出張所は、本土最南端の営業拠点として、平成二十六年八月開設され今年で六年が経過しました。

当社の知名度や営業種目が周知されていない、未知の南九州地区でどうにか地元の建設業者の皆様から仕事の引き合い（見積り依頼や工事の相談）を受けようになり、今年末までに三十件ほどの工事受注にたどり着きました。この受注に結びついた営業活動は、支店の営業・工事関係者をはじめ、全国の太平洋基礎工業関係者の後押しがあった成就した物です。

南九州の鹿児島は、明治維新を成し遂げた西郷隆盛や大久保利通らに代表されるように、気性の激しい県民性で知られ、気に入らばとことん付き合いを大切にしている技術者が数多く現場に就事しております。『鹿児島県民の性格：豪快で精神力が強い（質実剛健で頑固）、融通が利かない一本気が多く義理堅い。保守的で恩には恩で報いる。』

九州支店が、南九州で最初に受注した工事は、国土交通省が整備を進める東九州道の地盤改良工事でした。この道路の地盤改良工事を、地元の建設会社が受注し、当社は一次下請として施工に携ることになりました。（施工法はΦ1100mmのオーバースタンプ方式の二軸のCDM工法）

この工事の担当技術者は、現在熊本営業所所長として活躍する、瀬底氏です。この工事で当社技術者の施工への取り組みが高く評価され、『太平洋基礎工

業は真面目で良い仕事をする』と評判になりました。

その後、東九州道で発注された工事を受注した他の建設業者へ、次々に紹介されるようになっていきました。この頃から、入札前の見積りや基幹技能士の配置要請等で地元建設業者との協力体制が整い、順調な受注が確保される様になってきました。

又、受注後の技術提案で施工工法変更等に関する相談が可能になり、九州支店で初めてのCDMLand4の施工も実現しました。

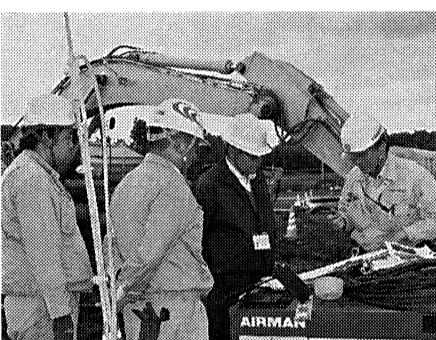
慣れない南九州の特殊土（火砕流堆積物）の軟弱地盤で、自社の技術を結集した関係者の努力の賜物であり、『営業はみんなの力で取り組む』を実行した結果が、このような実績として残りました。（現場では官公庁職員50名以上参加する現場見学会を実施・写真参照）

CDMLand4の工事に関しては、東京支店の吉田顧問が、ヨーロッパで開催された国際学会で、火山灰土の改良工事実施例として論文発表され、貴重な実績として残りました。

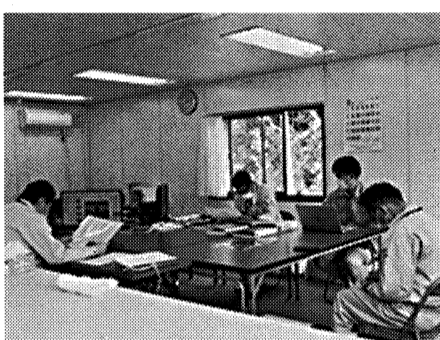
九州支店の営業担当者は、土木業界のベテランが多く豊富な経験と、経験で培った実学的耳学問で各種工事をイメージして、受注に結び付けていますが、現場に配置された九州支店の若手現場技術職員は、元請の年配職員・現場担当者の要求への対応で大変な苦勞を重ねながら、確実な施工を心がけ、更に信用を勝ち取ってくれました。

大阪支店から転属してきた、立石君は鹿児島県の工事で苦勞した一人です。宅盤の地盤改良工事の経験しかなかった彼が、一次官庁（国交省・農水省）が発注する公共事業の専門工事で、深層地盤改良工事、中層地盤改良工事、深礎杭工事、全周回転

場所打ち杭工事、斜面の水抜きボーリング工事、地下水観測調査ボーリング等、多種多様の工事・調査を頑張ってくれました。その影響を受けた、東矢君や前田君も同様に頑張りを、若手の頑張り合いが、鹿児島出張所の営業活動に大きく有益な実績を残してくれました。



監督職員へ工法説明する 立石・前田君



工事完成検査受検中の 東矢君

令和二年までで東九州道の基礎関係の工事は完了し、宮崎県内の日南・都城地区へ施工の中心が移りました。鹿児島地区での実績を基に、宮崎県の業者へ営業活動を進めてきましたが、四社十件以上見積りの要請はありますが、今のところ受注までは至っていません。宮崎県内業者への営業のきっかけは、鹿児島県内の東九州道

路での施工実績と、大隅工事で『完成検査の検査官の紹介』等になります。

一次下請施工会社として、工事完成検査での待機や工事説明等で、会社の対応技術力が評価され、宮崎の施工業者へ発注者から紹介して頂けるような会社に成長しました。

現在、南九州地区では、令和二年の九州豪雨の災害復旧工事に関係する工法提案を進めています。熊本県の球磨川水系沿線の国道二一九号や県道、市町村道などの早期復旧に向け、RBP工法の採用を目的とし、現場調査に基づく提案資料作成を行い、関係者（国土交通省・コンサル・施工業者）と協議を進めています。保有する特殊工法が、国土交通省の発注工事で採択されることで、全国的な営業展開が有利になることを目指し、九州支店の関係者と協力して活動しています。

太平洋基礎工業の一員として、営業活動を進めてきた中で、営業と工事の情報共有、協力が非常に大切であることを実感しています。

太平洋基礎工業は良い仕事を提供できる会社として活動でき、価格面での競争は非常に厳しい状況に置かれている現状があります。見積り提出等では、相手が構築できても、本社の資材や経理関係者から、安価な施工業者へ流れた物件が数多くあります。この原因として、九州支店には自社保有の資材が乏しいことも上げられますが、九州の受注の現状から、直ちに改善する事は困難と判断され、自社技術の設計売り込みで活路を見出すことが、最善策ではないかと考えています。

今後も顧客からの要望に応える為、会社の保有技術を勉強し、経験した設計技術と施工技術を融合させて、若手技術者の育成をしながら、九州支店内での協働体制を確立し、受注確保に努

力していきたくと思っています。激しい建設産業を生き残る為若手の『やる気と元氣と勇氣』を引き出し、その後押しを受けて、営業活動に頑張ることを見てくる、当社の明るい将来に期待したいと思います。

九州支店 鹿児島出張所 中島 一誠

ひとり言

何か話したり記したりするのにならずコロナから始まるのが日常となってます。

二月に入り久しぶりのホットトニュース、横浜市立大、コロナ感染者を快復から半年後の血液測定で再感染を防ぐ抗体、中和抗体を九八%の人が持つていたという。この先だけだけの期間、一年二年三年と抗体を持つていればその間新しいワクチン開発の時間も得られるし、この調査は現在使用されている治療薬でコロナを乗り越えられるのと人が本来持つている自然治癒力への期待、勇氣、希望に繋がります。只々コロナコロナと恐れることは避けたいものです。

他にも政権意向に沿うドコモ携帯料金値下げ発表。これでKDDI、ソフトバンクも追随しなくてはならなくなります。今では大人から小人まで必需品化している携帯の値下げ、コロナ禍で実収入が減っている市民にとってボーナスの様なもの。菅内閣の大手柄かと思ったりしています。

暗いニュースとして安倍政権が残した負の遺産とも言う国の借金で多くの地元支援者を招いて選挙活動的とも思われる桜を観る会、その前日に一流ホテルで開催した前夜祭の参加者から

お知らせ

次世代の社会を担う子どもも健康やかに生まれ、育成される環境整備を進めるため、平成一七年四月に「次世代育成支援対策推進法（次世代法）」という法律が施行されています。次世代法に基づき、平成二三年四月一日より一〇一人以上の従業員を雇用する企業は、仕事と子育ての両立を図るための「一般事業主行動計画」を策定し、都道府県労働局に届出、公表、従業員への周知が義務づけられています。

そこで今回、全ての社員がその能力を発揮できるような雇用環境の整備を行うとともに、地域の次世代育成支援対策に貢献するための行動計画を策定し、厚生労働省の愛知労働局雇用均等室に提出しました。計画期間、目標については次の通りです。

令和二年一月一日
令和五年一月三〇日

受け取った参加費に対して料金不足分を主催側が補填をしたという明細書が出てきて、既に検察も調査に入っていると報じられています。権力の座を降りたとたんに検察が動き出し身内の与党内からも説明責任を問われはじめています。一月に桜が国会で咲く季節外れに咲く花を狂い花と言いますが、三月の桜が一月に、真にあだ花としか言いようがありません。

他にも一月三日の朝刊、安倍内閣の吉川元農相大臣室で三回に渡り五〇〇万円の現金受持。政治資金収支報告書に受持の記載なしと報じられています。一向に後を絶たぬ政治と金。これまた不毛の国会論議かと重苦しい思いをしています。

顧問 豊住 満

目標①

小学校就学の始期に達するまでの子供を育てる四〇歳までの子供を持つ従業員に所定労働時間を超えて労働しないよう、また従業員が自宅で育児に親しむよう上司や総務部門からも呼びかけを行う。

目標②

出産や子育てによる退職者についての再雇用制度を実施する。

目標③

毎月第二、第四週をノー残業デーとして設定、実施する。

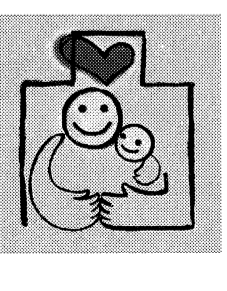
目標④

工場見学者及び若者（大学生や専門学校生等）のインターンシップの受け入れを行う。

以上四つの計画目標を三年間で実施していくことになりました。また、令和二年一月一日に愛知県ファミリー・フレンドリー企業に再登録し、公表しています。全事業所職員の皆様も協力して頂きます様お願いいたします。

なお、愛知県ファミリー・フレンドリー企業の登録内容は当社のホームページで確認できます。

管理本部 総務部 李 賢敏



共済会だより

☆新しい仲間 二月一日

福尾 孝司

名古屋支店 建築部

☆お疲れ様でした 二月十五日

小林 聡介

大阪支店 工務部